

LIFE大会参加者の皆様へ

～お茶大 構内見所案内～

本大会の機会に初めて本学を訪れた方も多いと思います。簡単に見所・ポイントを紹介させていただきます。あくまで実行委員会の独自の見解ですのでご了承ください。

0：都心にありながら静かで、こじんまりと落ち着いた雰囲気があります。女性みの大学（大学院も）ですが、とくに変わらない普通の国立大です。「学園祭の時しか入れないですよね」とよく言われますが、決してそのようなことはありません。構内に、こども園から高校までを有しております。「どうして御茶ノ水にないの？」とよく聞かれます。以前は、（JRの駅のある）御茶ノ水の地にありましたが、関東大震災で校舎が使えなくなり、現在の大塚の地に引っ越した経緯があります。跡地は現在、東京医科歯科大です。

1：正門修復

戦時中に接收された正門が9月7日に復元され、昭和11年の完成時の姿に戻りました。門に嵌め込まれたシンボルはお茶大の校章である「お茶の花」とは異なります。ある漢字の意匠らしいです。

2：リンゴの木

正門入って直ぐ右手にニュートンのリンゴの木が植樹されています。

3：お茶猫

図書館まえに常駐し、学生を（教員も？）いつもあたたかく見守ってくれています。茶と黒白の2匹に出会えたあなたはラッキーかも。

4：Ocha House

研究用の実験住宅として2010年に建造しました。おもに情報系・生活系の研究教育に使用しています。正門から徒歩数分の場所にあります。16日午後(13～15時)に公開予定です。



5：茶室（外観のみ）

2011年に茶室（庵号「芳香庵」）寄贈いただきました。学生の課外活動、ならびに、お茶の水女子大学の教育・研究・社会貢献のすべてに係わる施設として運営されています。

6：桜の木

2008年、寄付により多目的広場（Student Commons 前）に紅八重枝垂桜2本を植栽しました。

7：幼稚園（外観のみ）

1876(明治9)年 東京女子師範学校附属幼稚園として開園しました(当時は文京区湯島)。構内移転は1932(昭和7)年です。使われているスクラッチタイルは旧帝国ホテル（フランクロイドライト、1921）と同じものかも？

8：生協購買

こじんまりした店舗ですが、品揃えの違いをお楽しみください。お茶大まんじゅうをはじめ企画商品多数です。ぜひ、お土産にどうぞ。

※誠に申し訳ありません、会期中はエアコン工事のため閉店とのことです。次の機会にお願い致します。

9：歴史資料館（大学本館1階121室、正面入口から左手奥）

明治8（1875）年の開学にあたり昭憲皇太后から下賜された令旨・御歌「みがかずば」をはじめ、わが国の女子高等教育の歴史を語る上で欠かせない数多くの貴重な資料を展示しています。16日午後(13～15時)に公開致します。

10：階段教室

本館2階212教室は、家政学部時代に用いられていた教室です。医学部解剖教室とも異なるしつらえの階段教室をご覧ください。（常時開いています）

11：徽音堂（きいんどう）（本館入口正面）

本館内の講堂です。徽は『美しい』という意味です。全学の入学式・卒業式がここで執り行われます。もっともお茶大らしい雰囲気のある場所です。学園祭もこれにちなんで、徽音祭と呼ばれます。16日12時～14時に公開致します。是非、ご見学下さい。

番外（近隣）

小石川植物園（日本でもっとも古い植物園）

雑司ヶ谷霊園

護国寺

関口教会（東京カテドラル聖マリア大聖堂）（丹下健三作品）

永青文庫

鳩山会館